

平成26年度 農地中間管理事業 評価書

平成27年 5月 20日(評価委員会)

評価項目	評価	コメント
1、組織体制の整備(機構、市町村)が できているか ⇒業務委託の内容等	A <input checked="" type="radio"/> B C	市町村の執行体制が整っていない。府からの指導も併せて市町村の体制整備が必要と思う。
2、各関係機関等と連携がとれてい るか ⇒会議等での情報交換・巡回等	A <input checked="" type="radio"/> B C	市町村で開催される各会議に概ね出席できている。又JA等も巡回して情報交換できている。 今後も引き続き連携を図りたい。
3、農業者への周知徹底が図れて いるか ⇒パンフ送付、説明会等	A B <input checked="" type="radio"/> C	農地の出し手が少ない原因として、農家への周知徹底が十分ではないように思う。 今後も、パンフレット等を活用して周知徹底を図りたい。
4、京力農場プランとの連携に参画 しているか	<input checked="" type="radio"/> A B C	74件の貸付相手先の区域は、ほとんどプランが作成されている。
5、公募に応じた担い手のニーズへ の対応ができているか	A B <input checked="" type="radio"/> C	借受希望の330件・1,171haへのニーズの対応が不十分である。 丹後の国営農地に入植の新規就農者への対応等については出来ている。 (コメント)京丹後市等での取組など、評価するところもあるので、今後も一層努力されたい。
6、27年度取組に向けて具体的な 課題が設定されているか	<input checked="" type="radio"/> A B C	具体的な課題を設定して推進している。 亀岡、福知山等、基盤整備中の地区でコーディネーターと市町村が連携して重点地区を設定して推進すべきである。 (課題)基盤整備を活用した農業振興事業との連携が課題である。
総合評価	A <input checked="" type="radio"/> B C	府の創生センター、市町村、農業団体と連携を図られて、さらなる事業促進を図りたい。

A: 目標を達成している

B: 目標を概ね達成している

C: 目標どおり出来ていない